

## 文部科学省 共同利用・共同研究拠点

立命館大学アート・リサーチセンター 日本文化資源デジタル・アーカイブ研究拠点  
2014年度 共同研究成果報告書

2015年 4月30日 提出

1. 研究課題名	
近世近代期京都の地誌・案内記を対象としたデジタルアトラスの構築 (英文標記: Construction of a Digital Atlas of Topographic Documents and Guidebooks in the Early Modern Period and Modern Period of Kyoto )	
2. 研究代表者	
氏名(ふりがな)	所属機関・職名
塚本 章宏 (つかもと あきひろ)	徳島大学大学院ソシオ・アーツ・アンド・サイエンス研究部・准教授
3. 研究分担者 (合計: 名) ※アート・リサーチセンター所属者は、「ARC 所属教員欄」に○印を付してください	
氏名(ふりがな)	所属機関・職名
矢野 桂司(やの けいじ)	文学部・教授
赤間 亮(あかま りょう)	文学部・教授
金子 貴昭(かねこ たかあき)	衣笠総合研究機構・准教授
山路 正憲(やまぢ まさのり)	衣笠総合研究機構・研究員

4. 研究課題の概要(300字程度) (申請書から変更がある場合は、変更点分かるように明記してください)
<p>本研究課題は、近世から近代への移行期の京都における、あらゆる職種に関する人物・住所情報が記載された地誌・案内記類のデジタルアーカイブを進め、産業の立地や集積の地理的分布とその変遷を明らかにするためのデータ基盤の構築を目指すものである。これまでのデジタルアーカイブは、インターネットでの画像公開が主であったが、本研究課題では、地誌・案内記類の画像データベースと、地理情報システム(GIS)の管理・分析機能と連携させることで、オンライン上で主要産業の GIS 地図と原資料を閲覧することができるデジタルアトラスを構築することを目指す。この成果によって、歴史学や地理学といった伝統的な研究分野のみならず、デジタル・ヒューマニティーズの研究基盤、研究事例としても期待される。</p>
5. 研究成果の概要 (この項は、本センターのホームページ・紀要等で公開することがあります)
<p>2014年度は、京都の地誌・案内記類の所蔵数で最大規模の一つである、京都府立総合資料館に所蔵された地誌・案内記類および近代期に出版された絵図について、デジタルアーカイブを進め、インターネット上の画像データベースにおける公開に向けた整備に取り組んだ。</p> <p>デジタル撮影した資料の点数は、約100点、撮影カット数では約7000カットを数える。アート・リサーチセンターのサーバーを利用して公開されている「京都地誌データベース」に画像データを追加した。なお、2015年4月の時点では、メンバー内の限定的な閲覧にとどめている。</p> <p>上記の画像データベース構築・拡張についての作業を進めつつ、それらをインターネット地図から閲覧するための準備を進めた。本研究は、デジタルアトラスの構築を目指しており、様々な時間断面の商工業者・文化人の居住地分布がわかる地図から、人物が掲載されているページの画像データへとリンクさせることが必要である。また、京都の主要産業やアート・リサーチセンターの他の研究プロジェクトと連携できるような職種や項目の選定を進め、一部の年代の地誌・案内記は、WEBGIS化を進め、それらの連携テストを行っている。</p>

## 6. 研究業績

## (1) 著書

「歴史と GIS の境界」(『文化情報学』赤間亮・鈴木桂子・八村広三郎・矢野桂司・湯浅俊彦 編『文化情報学ガイドブック 情報メディア技術から「人」を探る』)、共著、2014年11月28日、勉誠出版、pp.43-49。

## (2) 論文

・特になし

## (3) 研究発表等

・「近世近代期京都の地誌・案内記を対象としたデジタルアトラスの構築」、2013年9月27日、日本文化資源デジタル・アーカイブ研究拠点 キックオフシンポジウム、立命館大学衣笠キャンパス アート・リサーチセンター、矢野桂司、赤間亮、金子貴昭、山路正憲、無

・「近世近代期京都を対象とした諸職名匠・諸師諸芸のデジタルアトラス構築」、2015年2月7日、文化情報学研究会、立命館大阪梅田キャンパス、矢野桂司、赤間亮、金子貴昭、山路正憲、無

・「近世近代期京都の地誌・案内記を対象としたデジタルアトラスの構築」、2015年3月2日、日本文化デジタルヒューマニティズ研究拠点シンポジウム、立命館大学 衣笠キャンパス アート・リサーチセンター、矢野桂司、赤間亮、金子貴昭、山路正憲、無

## (4) 主催したシンポジウム・研究会等

・特になし

## (5) その他研究活動(報道発表や講演会等)

・特になし

## (6) 受賞学術賞

・特になし

## (7) 科学研究費助成事業

・特になし

## (8) 競争的資金等(科研費を除く)

・該当なし

## (9) その他